

## 2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	神戸電鉄株式会社
期間中の総整備費	488 百万円
期間中の総徴収額	346 百万円
備考	2025/1/18に鉄道駅バリアフリー料金の収受を終了しています

整備完了実績（設置又は改良であって、期間中に供用を開始したもの）					
設備名	計画数		整備数		進捗率
ホームドア	駅	番線	駅	番線	%
エレベーター	駅	基	駅	基	%
エスカレーター	駅	基	駅	基	%
スロープ	駅	ヶ所	駅	ヶ所	%
内方線付点状ブロック	2 駅	5 番線	1 駅	2 番線	50 %
段差隙間縮小に資する設備	駅	番線	駅	番線	%
バリアフリートイレ	駅	ヶ所	駅	ヶ所	%
車両のフリースペース	編成	両	編成	両	%
その他	9	駅	9	駅	100 %
備考	バリアフリー料金の収受終了後に運賃収入等を充当して整備したものは含めておりません。 内方線付点状ブロック 1駅2番線（志染駅） その他 筆談対応インターホン1駅（大池駅） 触知案内板5駅（岡場駅・田尾寺駅・三田駅・フラワータウン駅・志染駅） 案内ディスプレイ6駅（長田駅・山の街駅・花山駅・大池駅・田尾寺駅・志染駅）				

※整備内容の詳細については様式3-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

料金徴収による期間中のホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	番線	
段差解消駅数	一経路確保駅	駅
	二経路以上確保駅	駅

## 2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績			
(1) 設置・改良費			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	駅	番線	百万円
エレベーター	駅	基	百万円
エスカレーター	1 駅	1 基	18 百万円 (※1)
スロープ	1 駅	2 ヶ所	24 百万円 (※1)
内方線付点状ブロック	1 駅	2 番線	16 百万円
段差隙間縮小	駅	番線	百万円
バリアフリースイッチ	駅	ヶ所	百万円
車両のフリースペース	編成	両	百万円
その他	9 駅		17 百万円 (※2)
備考	バリアフリー料金の収受終了後に運賃収入等を充当して整備したものは含めておりません。 ※1：設計・調査費用を計上（北鈴蘭台駅エスカレーター、有馬口駅スロープ） ※2：筆談対応インターホン1駅（大池駅） 触知案内板5駅（岡場駅・田尾寺駅・三田駅・フラワータウン駅・志染駅） 案内ディスプレイ6駅（長田駅・山の街駅・花山駅・大池駅・田尾寺駅・志染駅）		
(2) 更新費			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	駅	番線	百万円
エレベーター	2 駅	3 基	80 百万円
エスカレーター	4 駅	5 基	77 百万円
バリアフリースイッチ	駅	ヶ所	百万円
車両	編成	両	百万円
その他	駅		百万円
備考			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費	133	百万円 (※3)	
収受システム改修費	15	百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)	108	百万円 (※4)	
備考	※3：エレベーター、エスカレーターの維持管理 ※4：その他 駅務機器（券売機・改札機等）、駅頭表示（運賃表）改修費		

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備等計画と実績が異なる場合の対応方針

※内方線付点状ブロックの設置について

整備等計画上2駅5番線の整備と記載しておりますが、一部の駅については運賃収入等を充当して整備しましたので、本整備完了実績には計上していません。

※スロープの設置について

計画で見込んでいた整備内容の一部が2024年度に実施できなかったため、差額分の整備は運賃収入等を充当し実施しましたので、本整備完了実績には計上していません。